

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（経営者）	・新規クライアントからの問い合わせも増えてきていることから、先行きに期待できる。
	やや良くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・グルメ情報誌への掲載効果や、11月の予約状況の好調さ、ワインを中心とした企画に関する依頼の増加から、先行きは上向くと考えている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・10月に商店街全体でワゴンセールを行い、昨年2倍の売上があったため、先行きの明るい兆しがみえてきた。
		百貨店（売場主任）	・消費者の動きが季節やトレンド先取り型から、実需期直近型の傾向になっていると考えられる。気温の低下とともに秋冬衣料の動きが活発化すると期待している。
		家電量販店（経営者）	・家電業界では、デジタル放送の開始に伴い、客の薄型テレビへの関心が高まっていることから、需要をしっかりとらえるように努力すれば、売上は前年よりアップする。
		家電量販店（店長）	・暖房器具の売行きに関しては気候次第であるが、テレビについては間違いなく伸びると期待される。
		乗用車販売店（経営者）	・少しずつではあるが、車を購入する客が増えてきていることから、先行きに期待できる。
		乗用車販売店（営業担当）	・続々と新型車が発売されており、家族で検討している様子が見られるほか、リサイクル法の導入で古い車の入れ替えが進むと予想されることから、先行きに期待が持てる。
		住関連専門店（経営者）	・かなりの期間止まっていた個人営業の飲食店の新規出店が、少しずつ出始めているようで、物件の引き合いが入ってきていることから、先行きに期待が持てる。
		旅行代理店（経営者）	・企業の慰安旅行が少し回復傾向にあることから、先行きに期待できる。
遊園地（経営者）	・イベントの問い合わせや、団体からの問い合わせが昨年に比べて増えてきているので、全体的に上向き傾向になっている。		
その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・新築マンションの品薄感が感じられる中、住宅ローン金利が引き続き低位安定しており、また新規供給される商品企画には、よりユーザーニーズを満たすものが増加していることから、売行きは好調に推移していく。		
変わらない	一般小売店〔時計〕（経営者）	・しばらくは自然災害や社会不安等で、安心してお金を使う状況にないという感がある。家の補修や備えのために、お金を置いておかなければならないという会話が出ていることから、厳しい状況が続く。	
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・旅行に出かけるために、コートやスーツを購入する客が増えてきているなど、先行きの見通しは悪くないと考えているが、気温による悪影響が心配される。	
	百貨店（売場主任）	・歳暮商戦の時期に入るが、各百貨店が早期受注を行っているため、大きくプラス予想になる要素がない。	
	百貨店（売場主任）	・倒産や新潟県中越地震、台風の影響もあって、消費マインドが冷めていることから、厳しい状況が続く。	
	百貨店（売場主任）	・徐々に玩具、テレビゲーム等の新商品のヒットアイテムがあっても期待はできるものの、衣料を中心としたファッション関連はヒットアイテムもなく、大きな売上の伸びは期待できない。	
	百貨店（企画担当）	・周辺に人気キャラクターのショップが新規オープンし、集客効果が見込めるものの、長年展開していたショールームの撤退もあることから、一進一退の状況が続く。	
	百貨店（営業担当）	・一部の業種でまだまだ景気に対する不安感があり、平均単価が20万円から30万円であれば買うという姿勢が見られるが、それ以上の金額になるとなかなか購買が見込めないことから、厳しい状況が続く。	
	百貨店（営業担当）	・今月は若干活気が戻ってきているが、売れているのは婦人服を中心に今年の流行とされている商品だけである。今後も必要な物は購入するが、それ以外の物には手を出さないことが予想されるので、景気は現状を維持する。	
	スーパー（経営者）	・度重なる天災による国産農作物の被害は甚大で、しばらくの間は回復が難しいことから、単価高の基調が続く。また、急に輸入物を拡大して需要を満たすことができるとは考えにくいほか、米の価格も8月頃の予想が覆り、昨年に比べても大きく相場安になるとはいえなくなったことから、厳しい状況が続く。	

スーパー（店長）	・台風や新潟県中越地震による農作物への影響により、食費に負担がかかり、上向きと思われた景気にストップがかかる。野菜を中心に単価が上がったことで、売上は良くみえるが、相場高は商品の原価を引き上げて利益を圧迫するほか、品薄は品質の悪化を招いてロスが増えることが予想される。	
スーパー（経理担当）	・野菜価格の高騰により、当面食品の売上は好調に推移しそうであるが、逆に鍋物料理を控え、肉や魚の消費が伸び悩むなど、他の商品の購入を控えるおそれもある。また原油高により、灯油やガソリンが高騰すると、食品の需要に影響が出てくる可能性もある。	
コンビニ（経営者）	・医薬品の販売が一部解禁となったが、これからの季節に必要である風邪薬等はまた販売することができず、来店動機のプラス効果は期待できない。	
乗用車販売店（経営者）	・台風や新潟県中越地震の影響で明るい兆しが見えず、先行きが不透明である。	
乗用車販売店（営業担当）	・新型車が発表されて来客数は多いが、成約にまで至らないことから、今後も厳しい状況が続く。	
その他専門店〔医薬品〕（店員）	・新製品の動きは良かったが、近隣に同業者の出店が増えており、客が分散していることから、厳しい状況が続く。	
その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・台風、新潟県中越地震と購買意欲が増す状況にない。また、暖冬予測も冬物商品の販売には厳しいと思われる。	
一般レストラン（スタッフ）	・台風や新潟県中越地震等の自然災害による影響が出てくるため、今後大きく景気が変動するとは考えていない。	
都市型ホテル（スタッフ）	・宴会、会議、展示会関係は例年になく先行予約が順調だが、婚礼が急に落ち込み始めている。宿泊も目立った大口団体もなく、オフ時期に向かい、ビジネスなどの個人予約の動向次第という状況である。	
旅行代理店（広報担当）	・今年の年末年始は曜日配列があまり良くなく、旅行者の旅行日が一定期間に集中するため、売上高は昨年ペースより落ちる見込みである。また災害の影響で世間全般的にやや暗い状況が少々続くのではないかと思う。ただ1月末頃には、中部国際空港の開港や愛知万博の開幕を直前に控えた時期となり、これらを含めた明るい話題が豊富になることを期待している。	
通信会社（経営者）	・年末商戦は各電話事業者の動きが出てくるので、盛り上がり期待されるが、長期的な売上増の期待は薄い。	
観光名所（経理担当）	・台風や新潟県中越地震の影響もあると思われるが、状況は良くない。来客数はあまり落ちていないのに、売上が上がらない。また、県外からの客が大半を占めるが、以前のようにお金をあまり使ってもらえない。商品構成に工夫を凝らしているものの、効果がみられないことから、今後も厳しい状況が続く。	
その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・12月はコンサートが多く予定されており、その先も長期公演が入っているので順調である。	
美容室（経営者）	・七五三、成人式の予約が例年より少なく、売上の増加はあまり望めない。	
住宅販売会社（経営者）	・自然災害の恐ろしさが世間に知れ渡ることにより、不動産取得に対する条件が厳しいものになる。立地、建築内容を厳しく選択すればするほど、ハウスメーカー系の商品に注目が集まることが過去にあったため、地方中小工務店系の建売業者などは厳しくなるのではないかと考えている。	
住宅販売会社（従業員）	・分譲マンション等の土地仕入コストが急騰しており、販売価格へ転嫁せざるを得ないが、エンドユーザーの反応が不安である。	
住宅販売会社（総務担当）	・建売住宅の住宅ローン控除の駆け込み受注もあまり芳しくなく、不透明感がある。	
やや悪くなる	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・新潟県中越地震や米国の大統領選挙の影響が出てくることから、先行きには期待できない。
	百貨店（売場主任）	・台風、新潟県中越地震と自然災害が相次ぎ、心理的な面での様々な自粛が起こるのではないかと考えている。
	百貨店（経理担当）	・百貨店の主力商品である婦人服は、気候次第で良くも悪くもなる他力本願的な面があるが、今年は気温が平年より低い日が続くとは思えない。趣味し好に合っている商品は婦人バッグなどの高額品でも売れているが、全体を大きく押し上げるまでの力はないことから、先行きの見通しは厳しい。
	百貨店（店長）	・近隣に大型ショッピングセンターができる予定なので、競合が激化する。

		百貨店（サービス担当）	・原油価格の高騰による光熱費の上昇や、災害による野菜等の価格の上昇、さらに地下鉄御堂筋線の沿線に百貨店とスーパーの複合大型施設がオープンしたことで、歳暮商戦や年末商戦に大きな影響が出ることから、大変苦戦すると予想される。
		衣料品専門店（経営者）	・生鮮食品の物価高騰や、新潟県中越地震による心理的要因で消費者が守りに入っていることから、先行きの見通しは厳しい。
		衣料品専門店（総務担当）	・大型台風、新潟県中越地震などの自然災害が度重なり、更には原油価格の暴騰により、消費意欲が減退すると考えられる。
		乗用車販売店（経営者）	・依然として原油高が続いているが、ここに来て新潟県中越地震や台風の自然災害が起こり、消費にストップがかかる気配がある。これからクリスマス商戦だが、この状態でどこまで消費が回復するのか不安である。
		都市型ホテル（営業担当）	・この先3か月、宿泊に関しては、修学旅行やアジアからの団体客の取り込みなどで、今のところ良いペースで動いている。ただし、昨年は個人客の間際の伸びが良く、特に11月は過去最高の稼働率を示したが、今年は間際の伸びに前年のような勢いが無いほか、客室単価も低くなっており、売上は前年より少し悪くなる見込みである。また、宴会に関しては婚礼の落ち込みが大きく、一般宴会でのリカバリーが厳しい状況で、傾向としては前年よりやや下向きである。
		都市型ホテル（役員）	・予約状況からみて、宿泊部門、一般宴会部門は前年の収入を維持できると考えているが、婚礼宴会の予約状況が前年に比較して大幅に落ち込んでいることから、料飲を含めた他の部門でどこまでカバーできるかにかかっている。
		旅行代理店（店長）	・台風や新潟県中越地震等の、暗いニュースの多いことが客の足止めとなっており、国内の先行受注が芳しくない状況である。
		ゴルフ場（経営者）	・台風や新潟県中越地震による心理的影響が出ているように思われることから、先行きの見通しは厳しい。
		設計事務所（所長）	・新潟県中越地震等で景気は悪くなってくると予想される。
	悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・寒くなると防寒具が動くが、防寒商品を用意している小売店やメーカーが少なくなっている。防寒具を買わなくても、部屋や車の中は暖かいので、購入しないという状況がみられることから、先行きの見通しは厳しい。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・昨年と比べて地金価格が20%以上高騰しているため、このような商品は売上が落ちていないが、その他の商品は客の関心が薄いほかヒット商品も少なく、悪くなる傾向にある。この傾向が続くと商品の構成が変わってくるので、非常に対策が難しい。
企業動向関連	良くなる	広告代理店（営業担当）	・11、12月にオープンするショッピングセンターがいくつかあり、競合店がその対策で販促活動を行うことから、先行きに期待できる。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・引き合い量が増加し、受注見込みも増加傾向にある。
		建設業（経営者）	・台風23号による家屋等の被害があったため、しばらくはその修理に伴う工事がありそうである。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・クリスマス、年末商戦に向けて、折込チラシの増加が期待できる。産業再生機構による大手スーパー支援が決定して以来、他のスーパーや地元の商店街の攻勢が活発になりつつある。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・今までは鋼材値上げの製品価格への転嫁はスムーズに行われてきたが、ここに来て更なる値上げ要求があり、先行きに懸念を感じる。
		金属製品製造業（営業担当）	・原油高、鋼材高の影響もあり、一昨年からの回復基調に先行きの不透明感が出てきた。
一般機械器具製造業（経営者）		・年度内は受注が高水準で推移する見通しである。	
電気機械器具製造業（宣伝担当）		・地上デジタル放送の普及に伴い、デジタル放送対応の薄型テレビやハイビジョンレコーダー等は堅調に推移していくと思われる。	
電気機械器具製造業（企画担当）		・販売台数は増加傾向にあるが、得意先からの値下げ要求が強い。その分販売価格のダウンがみられ、売上金額の伸びに期待が持てない。	
	その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	・石油価格が高騰しており、売れ筋の商品を以前の原価で作ることができないことから、今後も厳しい状況が続く。	

	建設業（経営者）	・仕事量は増加傾向にあるが、収益面も比例して好転するかは疑問である。	
	建設業（経営者）	・当社で販売を開始した、駅から徒歩約8分という比較的立地条件の良い販売現場では、いざ販売を始めてみると、予想に反して結果が思わしくなかった。第三者的にみて希少価値がある分譲物件でも、このような状況であることから、今後も厳しい状況が続く。	
	輸送業（営業所長）	・年末になり多少の貨物の動きはあると思われるが、燃料の度重なる値上げによって利益率は下がっていることから、厳しい状況が続く。	
	輸送業（営業担当）	・年明けは物流の動きが止まるので例年暇になるが、年末に取引先の新規出店が予定されているため、少し期待を持っている。	
	通信業（経営者）	・台風、新潟県中越地震などの影響が出てくるのではないかと考えられる。	
	金融業（支店長）	・大手商社からの、鉄鋼の納入価格の値上げ要請が年内にもう一度あるが、値上げ分を社内で消化するには、業況がこのままの水準で推移する必要がある。	
	コピーサービス業（従業員）	・新紙幣導入等での各種表示物、告知物といった印刷物の注文が出始めている。しかし、一般的な企業の傾向として、様々なドキュメント作成の内製化が加速しており、今冬も厳しい商戦となりそうである。	
やや悪くなる	食料品製造業（従業員）	・台風、新潟県中越地震の影響がどのように出るか未知数である。	
	繊維工業（総務担当）	・今月から2、3か月先に向けて、例年であれば冬物商品を中心に売上高が上昇していくが、今年はその傾向がみられない。さらに、大手スーパーに対する売上減が重なってくるとの予測から、先行きは厳しい状況である。	
	金属製品製造業（営業担当）	・材料である鋼材の仕入価格の値上げに歯止めがかからないと思われるが、販売価格への転嫁が思うように進まない。販売価格を上げると受注量が減るが、販売価格をそのままにしていると、利益が出ないどころか、売れば売ほど赤字にもなりかねない。	
	輸送業（営業担当）	・運賃の見直し機運も高まり、燃料費の高騰、車両の改善基準のアップ等、物流業界は厳しい状況が続く。	
悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・当社の最大の得意先である液晶業界では既に生産過剰気味になっており、水処理関係の同業他社も厳しい価格競争を仕掛けてきていることから、先行きは悪くなる。	
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・災害復旧工事による求人増は、もう少し続くのではないかととの観測が優勢である。
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・求人案件が増加したほか、売上の前年比も2けた増となり、年末に向けての大口受注もあるなど、先行きに期待感が持てる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・12月以降の生産計画に基づき、新製品や増産の受注による請負の求人依頼が入っている。また、来年3月までの予定もあり、アルバイトやパートの求人数は好調に推移する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・職安だけを利用していた企業も、職安からの紹介だけでは追いつかず、広告媒体を使うようになってきている。そのため仕事が少し忙しくなってきたことから、先行きに期待できる。
		職業安定所（職員）	・新規求人を産業別にみると、製造業、運輸業、不動産業といった、これまで元気がなかった産業が増加している。これらの産業に元気があると、他の業界にも大きく影響を与えるのではないかと期待している。
		職業安定所（職員）	・大型商業施設がオープン予定で、雇用の受け皿として期待できる。また、企業の雇用調整も一段落していることから、先行きに期待が持てる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・採用活動の動きが昨年より早く、再来年3月卒業の求人票を持参する企業や郵送してくる企業が増えてきた。早く学生に採用情報をリリースして優秀な人材を確保したい様子である。昨年より積極的な採用活動がみられ、先行きは大きに期待できる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・製造業における人員ニーズは充足され、一服感があるが、サービス業における人員ニーズが強くなってきている。足元の人員ニーズは景気の先行きに対する見方に影響される状況にあるが、米国大統領選挙、台風、新潟県中越地震などが国内景気にどう影響してくるかは、見極めが難しい。

	新聞社 [ 求人広告 ] ( 営業担当 )	・正社員の広告は少し増えてきたものの、求人広告はフリーペーパーや、インターネットへ流れが変わってきていることから、今後も厳しい状況が続く。
	職業安定所 ( 職員 )	・求人自体は依然好調に推移しているが、原油価格の高騰により、運送業あるいは製造業が厳しい状況になり、将来的に人員過剰になることが懸念される。
やや悪くなる	民間職業紹介機関 ( 支社長 )	・関西の大手電機メーカーの採用意欲がやや減退傾向である。今後下請等の関連企業にも影響が出る可能性がある。ただし、それほど急激な変化ではなさそうである。
悪くなる	-	-